

総合的な学習の時間「災害時の行動を考えよう」学習指導案

首都大学東京 学術情報基盤センター 畠山 久, 柴山 愛

1. 日時 平成 27 年 11 月 21 日 (土) 9:45 ~ 11:25 (2・3 時限 100 分)
2. 場所 各教室
3. 対象 1 年生 (28 名×4 クラス合同)
4. 単元名 災害時の行動を考えよう
5. 単元の目標
 - ・ 身近な地域に潜む危険性に気づき、防災への意識を高める (関心・意欲・態度)
 - ・ 災害時の状況をイメージし、避難行動を考える (思考・判断・表現)
 - ・ 知識を基に身の回りの状況を観察し、必要に応じて情報を収集する (観察・調査技術)
 - ・ 防災の基礎知識を習得すると共に、地域特性に基づく災害時の行動を理解する (知識・理解)

6. 指導計画

| 期日 | 回 | 時限 | 学習内容 | 学習活動 |
|--------------|---|---------------------|------------|--------------------------------------|
| 9/3 (木) | 1 | 5・6 限 (120 分) | 基礎的知識の学習 | 防災に関する基礎的な知識と、学習支援システムの操作方法を学ぶ。 |
| 10/8 (木) | 2 | SU・5・6 限 (120 分) | 野外での学習 (1) | グループごとに学校周辺で野外学習し、地震の発生を想定した避難行動をとる。 |
| 11/5 (木) | 3 | SU・5・6 限 (120 分) | 野外での学習 (2) | グループごとに学校周辺で野外学習し、地震の発生を想定した避難行動をとる。 |
| 11/21 (土) | 4 | 2・3 限 (100 分) | 振り返り | 2 回の野外での学習結果を振り返り、災害時の避難行動について学習する。 |
| | 5 | 4・5・6 限 | 発表・講演会 | まとめた結果を発表し、災害に備えることの大切さを理解する。 |

7. 本時の学習

(1) 題材名 野外での避難行動の振り返りをしよう

(2) 目標

避難行動の振り返りを通じて、避難場所・避難経路の選択基準について考え、理解する。

(3) 教材・資料

- ・ 小冊子「災害に備えるための防災知識」(※ 9 月 3 日に配布済み)
- ・ タブレット端末 (学習支援システム利用/各グループ 1 台)
- ・ クリップボード (11 月 5 日学習時の地図, ワークシート A 2 枚)
- ・ ワークシート B (各グループ 2 枚)
- ・ ワークシート C (各グループ 5 枚)

8. 展開

| 時間 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
|-------------------------------|---|---|
| 9:45 導入 (5分) | 防災学習への導入 <ul style="list-style-type: none"> これまでの3回の学習の内容を思い返す 本日の学習で振り返る内容を確認する タブレットを受け取ったら自分の班のアカウントでログインする | <p>☆ スクリーン・プロジェクター・パソコンを設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 机をグループ毎につけておくよう指示する 問いかけを通じて9月からの防災学習を思い出させる <p>☆ タブレット・クリップボードを配布</p> |
| 9:50 活動 ① (15分) | 避難行動の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ワークシート A を準備する タブレットを用いて、自分のグループの2回の避難行動の記録を見返す □【学習記録】避難行動の振り返り→表示 メンバーで話し合い、振り返りの結果をワークシートの各項目に記入する | <ul style="list-style-type: none"> システムの操作説明を交えて作業内容を説明する どのような避難行動をとったかを、記録を閲覧しながら思い返すよう促す 2回目（11月5日）については記入した地図も併せて見るよう指示する |
| 10:05 展開 ① (15分) | 避難経路・避難場所の判断基準を考える <ul style="list-style-type: none"> グループによって最終的な避難場所が異なること、避難経路が異なることに注目する 多くの可能性からなぜこの避難経路・避難場所を選んだかを振り返る それぞれのルートが適切かどうかを考えながら、その選択基準となった項目を考える 知識に基づいて、緊急時に判断するための「基準」があることを確認する | <ul style="list-style-type: none"> 避難経路・場所をスクリーンに表示して比較させる □【学習記録】避難行動一覧→並べて表示 なぜこのような違いがでたのか、その理由である判断基準を考えさせる それぞれのルートを見比べて気づくところ、良い点・改善すべき点を発言させる <ul style="list-style-type: none"> ✓ なぜその道・避難場所を選んだのか ✓ 移動時間や避難距離はどうであったか ✓ 海からの距離や崖の有無などはどうか 今回の判断基準（ワークシート B の各項目）に沿った発言を引き出す |

| | | |
|---|---|--|
| <p>10:20 活動 ② (10 分)</p> | <p>避難行動の自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 判断基準を踏まえ、自分のグループの 2 回の避難行動を評価する 再度タブレットを用いて自分たちの避難行動の記録を閲覧する <input type="checkbox"/>【学習記録】避難行動の振り返り→表示 グループで話し合い、ワークシート B に記入する ✓ 当てはまる選択肢を一つ選ぶ ✓ その理由を話し合い、記入する | <p>☆ ワークシート B を配布</p> <ul style="list-style-type: none"> 判断基準をスクリーンに表示する <input type="checkbox"/> 判断基準資料 判断基準にあてはめ、自分たちの行動をそれぞれのレベルに分類させる なぜそのような行動をとったのか、訓練の際に意識していたのかを思い返すよう促す |
| <p>10:30 休憩 (10 分)</p> | <ul style="list-style-type: none"> 休憩時間後も教室に戻ってくる 休憩後も同じ形で着席するよう指示する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>※ 休憩のタイミングはクラスによって若干前後する可能性があります</p> </div> | |
| <p>10:40 活動 ③ (30 分)</p> | <p>避難行動の相互評価</p> <ul style="list-style-type: none"> タブレットを用いて、避難開始地点ごとの他の班の避難行動の記録を閲覧する <input type="checkbox"/>【学習記録】避難行動一覧→重ねて表示 判断基準の項目毎に、最も良いと考えられる班（の経路）を選んでワークシートに記入する 項目全体を踏まえ、自分たちが考える最も適切な経路を一つ選んでワークシートに記入する 選択した結果をシステム上で投票する <input type="checkbox"/>【重ねて表示】行を選択して投票 | <p>☆ ワークシート C を配布</p> <ul style="list-style-type: none"> システムの操作説明を交えて作業内容を説明する 自分たちが同じ場所で地震に遭遇したと仮定して、どのように避難するかをグループ内で話し合うよう指示する 話し合いをまとめる手順として、判断基準の項目毎に考えていくよう促す 判断基準をスクリーンに表示する <input type="checkbox"/> 判断基準資料 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>※ 全クラス横断の結果となるため、この時点で極力時間が揃っていると望ましいです</p> </div> <p>評価の閲覧</p> <ul style="list-style-type: none"> 全グループの評価の集計を確認する どの経路の評価が高いかを確認する |

| | | |
|---|---|---|
| <p>11:15</p> <p>展開 ②</p> <p>(5分)</p> | <p><u>クラス内での代表グループ発表</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 代表グループが自己評価に基づき、自分たちの避難行動において良かった点・改善すべき点を発表する | <ul style="list-style-type: none"> クラスのうち、多くの票が得られたグループに発表させる 発表している経路をスクリーンに投影しながら発表する 【学習記録】避難行動一覧→重ねて表示 時間次第で1～2班程度に発表させる |
| <p>11:20</p> <p>まとめ</p> <p>(5分)</p> | <p><u>まとめ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時の避難における重要な点を再確認する 決まった正解はなく、状況に応じて経路・目的地を判断しなければならないことを理解する そのために知識と日々の訓練が必要となることを理解する | <ul style="list-style-type: none"> 学習を通じて学んだことを、数人を指名しながら引き出す 主体的な判断が必要となることを理解させる タブレット端末等を回収する <p><回収物></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ タブレット端末一式（ケース含む） ✓ クリップボード ✓ ワークシート（3種類） |

☆ 授業終了 11:25